

Q1. なぜ今、グループ担任制に変える必要があるのですか？

A. 学校が抱える課題が複雑化し、学習面・生徒指導面ともに、よりきめ細かな支援が必要になってきたためです。1 人の担任だけでなく複数の教員で多面的に見守り、支援を強化することが目的です。「学級という枠を越えた複数教員の対応が不可欠な時代」という問題意識が背景にあります。

Q2. 目指している学校像は何ですか？

A. 本校は「子どもが主語」の学校づくりを目指しています。複数の教員で子どもを多角的に理解し、多様な関わりを通して一人ひとりをより大切にし、自立を促すことが目的です。

Q3. 教科担任制はどうなりますか？

A. 教科担任制は、令和 8 年度も継続し、全学年で実施する方向です（1 年生から実施予定としています）。

Q4. 「グループ担任制」とは、具体的にどういう仕組みですか？

A. 学級担任を固定せず、学級運営を複数の教員が担当し、基本は 1 週間ごとのローテーションで担任が入れ替わる方法です。

Q5. どの先生が担任になるのですか？

A. 本校では、低学年部（1・2 年）、中学年部（3・4 年）、高学年部（5・6 年）、のびっ子部の 4 つのグループ体制で支援していく計画です。

Q6. 毎週担任が変わると、子どもが落ち着かないのでは？

A. その点は課題として認識しています。担任が変わることで落ち着かなくなる・混乱する可能性があるため、指導の共通理解や情報共有を徹底し、安心して過ごせるルールづくりを進めます。

Q7. その週の担任は、保護者に分かりますか？

A. はい、翌週の担任は事前にお伝えする方針です。

Q8. 「学級事務担当担当」とは何をするのですか？

A. 年間を通して、通知表作成、入試事務などの学級事務を主に担当します。

なお、懇談会の担当の仕方（春・夏・冬で交替など）や、家庭訪問（必要な時）を複数担任で行う形も検討しています。

Q9. 毎日の朝の会や欠席連絡は誰が対応しますか？

A. 朝の会・給食・清掃・終わりの会、生徒指導、欠席者連絡など、日常の対応はその週のグループ担任が行う予定です(詳細は検討中)。

Q10. 相談は誰にすればいいですか?担任が変わると迷います。

A. 迷わないように「翌週の担任」を事前にお知らせします。また、相談内容によっては学年部内で情報共有し、複数で対応します。「誰に相談すればよいか戸惑う」という課題を想定しているため、仕組みでカバーします。

Q11. 情報共有が不足して、話が伝わらないのでは?

A. その不安は重要だと考えています。情報共有の時間確保に向けて、日課表の改訂などを含めて研究・協議を進めています。

Q12. 先生が複数いると責任の所在が曖昧になりませんか?

A. 先進校の課題として「責任の所在があいまいになることがある」点は把握しています。業務分担を明確にし、学年部として責任をもって対応する体制づくりを進めます。

Q13. 学習の質は下がりませんか?

A. 「1人の担任との密な関わりが少なくなる」という懸念はありますが、その分、複数の視点で多面的・多角的に関わることで、支援の質が下がらないと考えています。

Q14. 子どもが先生に慣れるのに時間がかかりませんか?

A. 教員側の課題として「全ての子どもを覚えるのに時間がかかる」点は想定しています。導入に向けて情報共有の仕組みや時間の確保などを検討し、スムーズに関係づくりが進むよう工夫します。

Q15. 子どもにとってのメリットは何ですか?

A. 先進校の実践では、主体性・自立などの非認知能力の育成、学習意欲や学力向上、相談しやすい先生に相談できることで問題の早期発見・解決につながるなどが挙げられています。

Q16. 「担任の先生が苦手で学校に行きづらい」子への効果は?

A. 先進校では「担任の先生が苦手という理由での欠席が少なくなる」という点が報告されています。複数の教員と関わることが安心につながると考えています。

Q17. 時間割はどう変わりますか?

A. 課題として「時間割の調整が複雑になる」点があり、導入に向けて時間割編成を協議しています。情報共有の時間を確保するための日課表改訂も検討しています。

Q18. 行事はどうなりますか？

A. 行事については、抜本的見直しを検討しています。「成功させる行事」だけでなく、児童が主体となり、失敗から学び、課題解決できる児童へつなげる行事のあり方へ転換していく方向です。

Q19. 先生の出張や病休のときは？

A. 先進校の実践では、複数担任により出張・病休などに対応しやすくなるとされています。チームで支えることで授業や学級運営が止まりにくくなります。

Q20. いつから導入ですか？

A. 令和8年4月から、全学年で導入する方針で研究を進めています。

Q21. もう決定ですか？今後変更はありますか？

A. 現在は導入に向けて研究・協議を進めている段階で、詳細は検討中の項目もあります。課題を一つずつクリアしながら制度設計を固めていきます。

Q22. 保護者として協力できることは何ですか？

A. 「子どもが主語」の学校づくりを進めるため、ご家庭でも新しい担任体制への理解を共有していただき、困りごとがあれば早めに学校へご相談ください。学校としても丁寧に情報提供しながら進めます。

※「今週の担任の周知方法（プリント/連絡帳/配信など）は、決まり次第お知らせします」

※「相談窓口は“まず今週の担任”、必要に応じて学年部で共有して対応します」

※「日課表改訂や時間割は“情報共有時間の確保”が柱です」